

関係機関の長 殿

独立行政法人国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校長

後 藤 景 子 (公 印 省 略)

教員の公募について (依頼)

貴機関におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本校では下記のとおり電子制御工学科の教員を公募することになりました。
つきましては、貴機関関係者への周知方並びに適任者のご推薦について、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 職名・人員 教授、准教授、講師または助教 1名
2. 所属学科 電子制御工学科
3. 専門分野 機械工学関連分野
4. 担当科目 機械系基礎科目 (熱力学、流体力学、材料力学、機械力学など)
実験系科目 (システム設計製作、工学実験、卒業研究、特別研究など)
※工学実験では電気・電子・情報系の実験テーマを担当していただくこともあります。
応募者の専門分野またはそれに近い分野の専門科目
5. 応募資格 助教・講師については、次の(1)～(2)を満たす方。
准教授・教授については、次の(1)～(3)すべてを満たす方。
(1) 博士の学位を有するか、着任までに取得が確実に見込まれる方。
但し助教職については、着任後3年以内に博士の学位の取得見込みの方も応募可能とします。
(2) 高等専門学校の本科および専攻科の教育・研究・学生指導 (課外活動を含む)・校務・地域貢献に熱心に取り組む意欲のある方。
(3) 本学科の管理・運営にあたる能力を有する方。
企業や高等専門学校・大学での勤務経験があることが望ましい。
6. 着任予定日 令和4年4月1日
7. 任期 助教職で博士の学位を取得見込みの場合のみ、採用後3年間の任期付き採用とし、任期中に学位を取得した場合は、任期の定めのないものとします。
8. 提出書類 以下(1)、(2)及び(3)の「概要」については、本校トップページ > 採用情報
URL: <https://www.nara-k.ac.jp/employ/saiyo/advertise/>
からダウンロードできる様式を使用すること。
(1) 履歴書 (氏名・現住所 (連絡先) は、自筆で記入すること。)
(2) 教育・研究業績一覧
学術・教育論文、著書、学会口頭発表。企業経験者においては業務経歴、その他受賞経歴、外部資金獲得実績等の追記も可 (A4用紙1枚、書式自由)。国際会議の場合は、プロシーディングの表紙など、開催の実態が分かる資料を添付のこと。
(3) 主要著書・論文の別刷3編以内 (各1部、コピー可) 及び各々の概要
(4) 着任後の高等専門学校における教育・研究及び学生指導に対する抱負を記した文

書（A4用紙1枚、1,500字程度、書式自由）

- (5) 当学科のカリキュラムから、担当可能な科目名リストを作成した書類
（A4用紙1枚、書式自由）

担当可能科目の教育実績がある場合は、そのことも明記して下さい。

当学科のシラバスは <https://syllabus.kosen-k.go.jp> で公開されています。

- (6) 推薦書1通（推薦書がない場合、あるいは学位取得見込みの場合は応募者に関して意見を求めることができる方の氏名、所属機関、電子メールを含む連絡先及び応募者との関係を記載のこと。）

※ 提出頂いた書類等は原則お返しませんが、返却を希望される場合は、宛名、送付先を明記した宅配便の着払用伝票を同封して下さい。

※ 後日、着任手続きのために、改めて電子ファイル形式での書類提出をお願いすることがあります。

9. 応募締切

令和4年1月6日（木） 必着

10. 選考方法

第1次選考 書類審査

第2次選考 第1次選考合格者を対象に面接審査及び模擬授業

（令和4年1月中を予定）

※ 面接審査及び模擬授業に伴う旅費・宿泊費等は応募者の負担とします。

※ 本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、審査結果について同等と認められる場合は女性応募者を優先させていただきます。

11. 書類提出先

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22番地

奈良工業高等専門学校 総務課人事係

Tel: 0743-55-6014

※ 封筒に「電子制御工学科教員応募書類在中」と朱書きの上、特定記録で郵送願います。

12. その他

応募者の個人情報、本校の教員を採用する目的のために利用するものであり、第三者に提供または公表することはありません。

13. 問い合わせ先

奈良工業高等専門学校 電子制御工学科主任 橋爪 進

E-mail: hashizume@ctrl.nara-k.ac.jp

以上

《奈良工業高等専門学校電子制御工学科公募補足資料》

◆ 奈良高専の教員が携わる授業以外の職務概要

本校には本科（５年）と専攻科（２年）があります。高専はその教育目標や学生の年齢層（本科：１５～２０歳、専攻科：２０～２２歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があり、教員は、教育、研究、学校運営、学生の生活指導など多様な業務を要求されます。以下では、奈良高専の教員の授業以外の職務についての認識を深めていただくために、主な職務の概要を記します。

① 学級担任

学級担任は、一学級４０人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。例えば、ホームルームや教室清掃をはじめスポーツ大会や高専祭など各種行事での指導、学生の個人面談や保護者との懇談なども行います。

② 学校運営のための各種委員会

教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ各種の委員会等があり、基本的に教員は委員として学校運営に参加します。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属する場合があります。

③ 研究

高専の教員には、先端の技術を教授するために研究に対する意欲的な姿勢と研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されています。また、地域産業界などとの産学連携にも積極的に関わっていただくことが重要です。

④ クラブ顧問

ほぼすべての教員がクラブ顧問としての日常的な課外活動指導をはじめ、各種コンテストまたは高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などを行っています。

⑤ 学生寮の宿直

原則として全教員が交代で学生寮の宿直を行い、巡回・点呼、緊急時の対応などにあたっています。

⑥ 地域連携

地元の小学生・中学生を対象とした公開講座や科学教室などに講師として参加します。

以上